

駅近におけるお菓子の購買行動が見える化

中央大学工学部の空間情報科学研究室と洋菓子のヒロタが、効果的な店舗開発のためのミクロな店舗立地モデル構築に向けて連携を開始

各 位

2019年2月25日
株式会社洋菓子のヒロタ

地域に関する情報をデジタルな地図で見える化し、分析することができる空間情報科学は、国内では某有名ファストフードチェーンが店舗開発のために導入したのを先駆けに、小売業の様々な分野において店舗の開発や分析のために活用されてきました。従来の店舗開発・分析のためのモデルでは、人口や土地利用などマクロな地域環境が重視されてきましたが、現在の東京のように複雑化・高度化した大都市においては、地域の3次元的構造や人の流れ、店舗の視認性など、ミクロな立地環境も、店舗の成功に深く関わってきていると考えられます。

そこで洋菓子のヒロタでは、空間情報科学を専門とする中央大学工学部人間総合理工学科の山田教授と連携して、これまでの実際の店舗データなどを活用して様々な分析を行うことで、効果的な店舗開発に繋がるモデルを研究・開発していくことを、平成31年1月11日に合意しました。通行人がどこから来てどのように行動しているのか、どの店舗にどのくらい滞在しているのか、店舗や広告がどのように見えているのかなど、店舗の状況を空間的な視点から分析し見える化していく予定です。この研究で得られた結果は、今後の洋菓子のヒロタの店舗展開での活用を予定しておりますが、イベント展開や他商品の販売戦略にもひろく応用されることが期待されます。

< 問い合わせ先 >

株式会社洋菓子のヒロタ

東京都新宿区西新宿2-6-1 Tel 03-5989-3865

以上